

本市では当面の間、本取扱い(在宅等による代替的な支援の提供)について、引き続き認めることとしています。

今後、変更が生じる場合は、市ホームページに掲載しますので、ご承知おきください。

新型コロナウイルス感染症への対応に伴う障害児通所支援事業所における 臨時的な在宅でのサービス提供について

1 在宅利用の対象者

在宅でのサービス提供については、利用者が受給者証をお持ちで、新型コロナウイルス感染の恐れがあり通所できないが、サービス提供を必要としていることを要件とします。

事業所の運営規定の変更や利用者から市役所への改めの支給申請等は不要です。

2 サービス提供について

サービス提供に係る要件については、次のとおりとします。

- (1) 在宅において日常生活や療育訓練等に係る支援を提供できる体制が確保されていること。
- (2) 在宅支援の内容について個別支援計画を作成し利用者に同意を得ること。
- (3) 原則、居宅へ訪問し支援を行うこと。
- (4) 利用者から居宅への訪問を拒否された場合などは、電話等の方法で利用者の健康管理や相談支援などの可能な範囲での支援を可能とする。また、居宅介護等のサービス利用が必要であれば、障害福祉課や相談支援事業所と調整すること。
- (5) 利用者が療育訓練等を行う上で疑義が生じた際の照会等に対し、随時、訪問や連絡による必要な支援が提供できる体制を確保すること。
- (6) 在宅支援を行う場合でも利用者負担額が発生することを利用者に説明し、同意を得ること。
- (7) 緊急時の対応ができること。

なお、提供したサービス(実施方法や支援内容など)について、通常の記録に加え、実施方法も併せて記録に残してください。

3 障害福祉サービス費の請求について

請求方法については従来どおり国保連合会への請求となります。

4 その他

- (1)本取扱いの対象者は、伊勢崎市で支給決定を受けている利用者に限ります。他市町村の

支給決定者については、援護の実施者へご確認ください。

- (2)今回お示ししている内容については、従来の在宅利用の要件及び手続き等を変更するものではなく、あくまで新型コロナウイルスへの対応のための、現時点の取り扱いであり、今後の感染症拡大の動向により変更になることもあります。
- (3)サービスの利用状況について、市から利用者本人(家族等)に確認をさせていただく場合もありますので、通常と異なる実施方法でサービス提供を行う際には、必ず、事前に利用者本人(家族等)に説明をしてください。
- (4)令和2年3月からの臨時休校に伴う休業日単価の適用については、令和2年7月15日で終了しております。
- (5)在宅における代替的な支援を受けた分の利用者負担の補助は、令和3年3月実施分で終了しております。